

各位

新経営研究会
代表 松尾 隆

激変する時代環境の中、独自の道を切り開くべく挑まれた“挑戦”と“現場”に触れる
2025年度前期「異業種・独自企業研究会」のご案内

—急速に進むAI/IoTなどDXとGXの本格化、科学技術本流の画期的変化、国際環境の激変、求められる多様な価値観・美意識の回復—

謹啓 早、そこ此処にほころび始めた梅の蕾の見られる候となりました。
皆様におかれましては、愈々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、「激変する時代環境の中で独自の道を切り開かれて来られたヴィジョンと挑戦」に触れさせていただき、併せてその現場に直接触れさせていただいて、「独自性、独創性」ということの真の意味、本質に迫らせていただくことを目的に、去る1982年、弊会が発足と共にスタートさせました弊会の主軸事業「異業種・独自企業研究会」は、この度の新型コロナウイルス感染症の影響で丁度3年間休会のやむなきに至り、皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、一昨年9月再開の運びなり、お陰様で今年、発足満40年目を迎えることとなりました。

これもひとえに皆様の厚いご支援の賜物で、改めて衷心より御礼申し上げる次第です。

さて、時代は生成AIなど第二世代を迎えたDX化、GX化の本格的要請、科学技術本流の画期的変化、加えて緊張を加える国際環境、そして何よりも危ぶまれる人間性と独自の文化の喪失感…。私たちは今、時代が求めているそれぞれへのイノベーション、合わせて生き生きとした人間性、多様な独自の文化・美意識の回復が求められていると信じます。

そして日本は今、生成AIを含む今後のデジタル化、画期的科学・技術の進展の中で、今、如何にして日本の強み、日本独自の美意識と価値観を発揚させ、国際競争力と国際貢献力を合わせ持つ、日本独自の“技術・製品開発”と“ものづくり”、“独自の企業価値”の創出を実現していけるか、問われています。

私たちは今、原点に立ち返って今後の進路を深く考える必要がある、と信じています。

この「異業種・独自企業研究会」は、毎回、今日における独創的企業の経営者(創業者を含む)、また画期的イノベーションに取り組まれたご本人をお囲みし、この方々が持たれたヴィジョンと今日に至る道りをご披瀝いただき、合わせてその現場に直に触れさせていただく機会を得、また温故知新(心)、日本の“原点”に感動的に触れる機会を併せ持つ、今後日本の在り方を求め合っていくことを目的としている“同志会”です。

この未曾有の時代環境激変の今日、私たちは産業と分野、国と文化の壁を取り払って今日の各々の問題意識とビジョン、挑戦的試みを交流し、「感動的出会い」、「本質に触れる機会」を開きたい。

その感動的出会いが既成の通念を打ち破って新しい多様な世界に目を開かせ、明日の指針と希望を開き、人間形成への掛け替えのない機会となる、と確信する次第です。

新経営研究会が求めるべき道の命は、「“感動的出会い”と“本質に触れる機会”、そして“夢とヴィジョンを語り合える機会と場”の創出」、と信じて邁進しています。

是非とも貴台、また御社からのご参加を賜りたく、幾重にもお願い申し上げます。

敬具